



presents

ウィーン・リング・アンサンブル

ニュー・イヤークンサート2026

Wiener Ring- ensemble

New Year

Concert

2026

2026年

1/8(木)19時
サントリーホール

Thursday, January 8, 2026
at 7 p.m.
Suntory Hall, Tokyo

©Yukitaka Amemiya



料金: S¥9,000 A¥7,000 B¥5,000

主催: KAJIMOTO 特別協賛: KPMG

後援: オーストリア共和国大使館/オーストリア文化フォーラム東京



今も花開き続ける、古き良きウィーン文化の愉悅に酔う

はるかな長い時を経て形成されていく、重層的な文化は面白い。

奥深く、そして愉悅が滲み出る。これは日本の伝統文化だって、西洋のそれだって、ちっとも変わらない。ウィーンのあの優雅な宮廷文化も長い時を巡って生まれたはずだが、19世紀中ごろに市民の活気が加わったことが、シュトラウス・ファミリーのあの魅力的な音楽を生む根となったのだろう。笑いの中にそっと涙を隠したような大人の情緒とともに。当時のヨーロッパでは空前の人気を誇ったワルツやポルカたちは、今の私たちが聴いたってあんなに愉しく酔ってしまうのだ。(シュトラウス一家やランナー、ツィーラーたちの「ワルツ合戦」なるものもあったそうなの)

舞踏会で踊る女性たちがターンするときのスカート揺れ動きから、ウィーンの音楽家たちが奏する3拍子のワルツの2拍目は、あのようにちょっと遅れて出るようになったそうだが、これも文化。そしてそれを最も色濃く洗練したかたちで私たちに聴かせてくれるのが、他ならぬウィーン・フィルの奏者たち。それも元看板コンサートマスターのキュッヒルや現首席のシュッツをはじめとする精鋭たちだ。

34回目の来日となる今回もまた、ウィーン文化の粋をたっぷりと伝え、私たちはまたしてもそれに酔う。これはもはや日本のお正月文化でもあるだろう。

(A)

ウィーン・リング・アンサンブル Wiener Ring-Ensemble

ウィーンの旧市街を取り巻くこの街ならではののみどろ環状道路、「リング」にちなんで命名されたこのアンサンブルは、まさにウィーンの音楽を演奏するために結成された。

2016年までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の名コンサートマスターとして同団を率いたライナー・キュッヒルを中心に、ヴァイオリン2人、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、ホルン各1人にクラリネット2人の9人編成で、ウィーン・フィルの腕利きの主要メンバーたちである。

ウィーン情緒の香り高いシュトラウス・ファミリーやツィーラー、ランナーたちのワルツ、ポルカの演奏は、ウィーンに寄せる彼らの愛情と誇りを痛感させ、聴く者をこの上ない幸福感で満たしてくれる。

ウィーン楽友協会での年末恒例のコンサート・シリーズでは、1999年以降、毎年ブラームスザールでウィーン・リング・アンサンブルの演奏会が行われ、地元ウィーン子の絶賛を集めている。2002年夏には、ルツェルン・フェスティバルに招待された。

日本へは1991年に初来日し、引き続き1993年以降毎年のように来日。ウィーンでの「ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサート」に出演後、すぐに日本へ駆けつけてニューイヤー・コンサートを行い、本場の響きと香りをそっくり日本のファンに届けている。

1998年には長野オリンピック文化・芸術祭参加公演に選ばれ、現地で2回の演奏会を行った。その他、度重なるテレビ放映やCDで、日本でもすっかりおなじみの存在である。

2026年は34回目のツアーとなる。

ウィーン・リング・アンサンブル メンバー

ライナー・キュッヒル(ヴァイオリン) Rainer KÜchl, <i>Violin</i>	カール・ハインツ・シュッツ(フルート) Karl-Heinz Schütz, <i>Flute</i>
ダニエル・フロシャウアー(ヴァイオリン) Daniel Froschauer, <i>Violin</i>	アレックス・ラドシュテッター(クラリネット) Alex Ladstätter, <i>Clarinet</i>
ハインリヒ・コル(ヴィオラ) Heinrich Koll, <i>Viola</i>	ヨハン・ヒントラー(クラリネット) Johann Hindler, <i>Clarinet</i>
シュテファン・ガルトマイヤー(チェロ) Stefan Gartmayer, <i>Cello</i>	ロナルド・ヤネシッツ(ホルン) Ronald Janezic, <i>Horn</i>
ミヒャエル・ブラデラー(コントラバス) Michael Bladerer, <i>Contrabass</i>	



選ばれ続ける存在に。

KPMGジャパンは、監査・税務・アドバイザリーの各分野で、価値あるインサイトを提供し、変革に挑む企業を支援し続けています。

© 2025 KPMG AZSA LLC, a limited liability audit corporation incorporated under the Japanese Certified Public Accountants Law and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved.

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

“kajimotomusic” で検索! YouTube (旧Twitter) @kajimoto_News @kajimotomusic

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード: 308-220)
e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>
CNプレイガイド www.cnplayguide.com
ローソンチケット <https://l-tike.com/>
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017
(オペレーター対応 10:00-18:00 ※休館日は休業)

カジモト・イープラス



一般発売:
10/13(月・祝) 10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 9/30(火) 12:00~10/3(金) 18:00 先行受付専用番号 TEL: 050-3185-6713 [10:00~18:00 (初日のみ 12:00より受付)]

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。
●ご来場の皆様に安心して聴きいただけますよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。